

運輸安全マネジメントに関する取り組みについて

輸送の安全を確保するために以下のとおり社員一丸となって運輸安全マネジメントに取り組んで参ります

1. 安全の基本方針

- 1) 輸送の安全確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、社内において輸送の安全の確保に主導的な役割を果たして参ります。
- 2) 安全に関する声に耳を傾けるなど現場の状況を十分に踏まえつつ、社員に対し輸送の安全確保が最も重要であるという意識を徹底させます。
- 3) 輸送の安全に関する計画の策定、実行、チェック、改善を確実に実施し、輸送の安全性の向上に努めて参ります。
- 4) 輸送の安全に関する情報について積極的に公表します。

2. スローガン 「基本に忠実・安全を最優先」

- ①全ての事業活動において安全を最優先します
- ②法令・規則を遵守します
- ③常に「問題意識」と「課題意識」を高め「安全」を追求、責務を果たします
- ④輸送の安全に関する情報は積極的に公表します

3. 輸送の安全に関する目標及び当該目標の前年度達成状況

令和4年度 目標 ・自動車事故報告規則第2条に規定する事故(重大事故)件数 ゼロ ・人身事故0件 ・対物事故0件

実績 ※その他の事故:軽微な事故を含む有責・無責のすべての事故

年度	重大事故		その他の事故		内 訳	達成状況	行政処分
	目標	実績	目標	実績			
令和元年度	0件	0件	0件	2件	【人身0件/物損2件】	未達成	なし
令和2年度	0件	0件	0件	0件	【人身0件/物損0件】	達成	なし
令和3年度	0件	0件	0件	0件	【人身0件/物損0件】	達成	なし
令和4年度	0件	0件	0件	0件	【人身0件/物損0件】	達成	なし
令和5年度	0件	0件	0件	0件	【人身0件/物損0件】	達成	なし

4. 安全に関する重点施策と教育方針

<重点施策>

①危険予測運転の励行 漫然運転防止

- ・交差点内の一時停止、状況確認の重要性の再認識
- ・横断歩道付近の歩行者や自転車等がいる場合の一時停止の徹底
- ・子どもや高齢者の特性について教育を実施
- ・集中力や注意力が散漫な状態では危険を察知するタイミングが遅れ、重大事故を引き起こす確率を高めることを再認識
- ・漫然運転の様々な原因について考察し、防止策(十分な休憩、悩み事の解決、ゆとりや余裕をもった運行計画等)を実施

②乗務員の過労運転防止

- ・運転者の健康診断結果をもとに医師からの意見聴取を行い、対象従業員に対し、医療機関等への受診を働きかけた
- ・外部機関主催の健康経営セミナーに参加、働き方改革、2024年問題に対応するための健康管理、労働時間等に関する研修を受講
- ・乗務終了後の車両清掃および消毒作業を補助し、運転者の負担軽減を図り、勤務状態の把握・管理を徹底

<輸送の安全に関する計画実績>

①安全に関する運動への積極的参加

交通安全運動 ・ 年末年始の輸送における安全総点検 ・ 飲酒運転撲滅運動 ・ シートベルト着用推進運動(出発前の着用アナウンスの徹底)
新型コロナウイルス感染予防への啓蒙活動(パンフレット活用)・スクールバス学校関係者との指導連携、置き去り防止装置の装着

②安全に関する指導の強化【講習・訓練・研修】

経営トップによる点呼時の立会査察・添乗立会査察実施
初任運転者・事故惹起者への実技訓練を含めた個別指導、適性検査の受診
運転手の経験、車種毎における技術・知識向上のための指導監督
感染症対策、健康診断の実施
非常事態発生時の事故対策の教育
危険予知トレーニングシート及びドライブレコーダーの記録の活用

③運転保安に関する業務の充実強化

「ヒヤリ・ハット」情報の収集と活用 ・ 指差呼称による日常点検実施の徹底
整備管理者立会のもと運転者全員による担当車両の一斉整備及び、整備教育

<輸送の安全に関する教育及び研修実績>

① 管理者への教育

安全統括管理者による点呼立会査察後の指導
バス協会主催の「安全輸送講習会」の参加、受講
アルコール検知器の使用管理と機器の維持管理

② 乗務員に対する教育

安全統括管理者による乗務添乗査察後の指導

<輸送の安全に関する投資実績>

バックカメラ更新 ・ 新型コロナウイルス感染予防対策 ・ 貸切バス適正化事業費用 ・ 運転経歴書取得経費 ・ 車両入替
LEDヘッドライトの交換 ・ 安全教育費(研修等) ・ 一般健康診断

5. 内部監査の結果並びにそれに基づき講じた措置及び講じようとする措置

内部監査の実施	各種規定等の確立	関係法令等への適合	PDCA サイクルの有効性
内部監査の実施の回数	1回	1回	1回
指摘有無	無	無	有
指摘措置	-	-	済

6. 安全統括管理者 佐々木 林

有限会社 清水田観光

令和6年3月25日